磐城毎日

社長 大和田與兵衛
發行所 福島縣平市 15丁目12番地
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番
定價1ヶ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

投稿歡迎

建設を目指し自働電話

關係筋え陳情並に請願

大平市

平市は濱三郡における中樞都市として産業經濟の面からも將來の發展を約束され都市計畫豫定地域は一市、五ヶ町十三ヶ村を網羅し人口約二十五萬人を有する大都市建設の構想を劃かれているがその構想の一コマとして電話の自動式の實現を期する事となり市役所、商工會議所が中心となつて運動を展開中であつたが國會再會の機を狙て田村電氣通信大臣、東北電氣通信局長、福島電氣通信部長宛に陳情書を、幣原衆議院議長、佐藤參議院議長關内衆院寺尾參院兩電氣通信常任委員長宛請願書を鈴木市長、諸橋商工會議所會頭名を以つて大要次の如き理由を附して十九日それ〴〵發送したが大平市建設の構想として注目される

我が平市は所謂常磐炭田及磐城七濱漁場の中樞都市として近隣には内郷、好間、湯本、小名濱（人口二萬乃至三萬八千）四倉、江名（人口一萬以上）等十指を屈する衞星的小都市を抱擁し礦工、水産、農村物資の生産取引の活發一段と賑なるは實に福島縣隨一であり、福島、郡山の先進都市と雖も遠くこれが追隨を許さない近代都市文化のバロメーターである電話施設が明治四十二年平市に架設（當時加入數七四基）せられ以來茲に四十有餘年の星霜を經過し昭和五年共電式に改工されてからも既に二十年を閲する古い歴史を有し終戰後は新規加入希望者數年々千餘人を數うるにも拘らずケーブル線路の擴充を行わざる限り電話の增設は殆んと不可能であつて現在の加入者僅かに一、二七八基でありしかもその電話交換機の設備の多くは使用年數相當長年月を經ているため故障續出の狀態であつて地方産業經濟の伸展に影響する事は深く遺憾とする處である

十八ヶ町村を合併

縣都福島を凌ぐ

試みに本縣内主要都市に於ける市外通話料及取扱數の實狀を見るに通話料一基當り當市は縣都福島を除き他の三市の高位に置かれ取扱時數に於ては斷然他の四市を壓倒し又電話普及率は福島、郡山、白河の三市を遙かに凌駕する狀態である、更らに平市將來の郡市計畫豫定地域は一市、五ヶ町、十三ヶ村を網羅しその世帶數五萬にして人口二十五萬人を抱擁する大都市建設を目標とし目下着々これ等町村合併施策を講じつゝある現狀にして今後電話需要の激增は火を見るよりも瞭かである、何卒叙上の實狀並に當市の經濟的地位、市勢伸展の將來性を賢察の上速かに自動式電話に改工實施せられん事を懇請する

市の事務囑託員十九日に初會議

平市事務囑託員の本年度初會議は十九日午後三時より公會堂日本間で開催したが協議並に指示事項は次の通り

一、戸籍事務取扱いについて

一、昭和二十六年度固定資産償却資産及事業の用に供する建物の申告について

一、參議院議員補欠選擧について

植田の自由勞組 職安員を吊上ぐ

平職安所雇員國井某君は石城郡錦町自由勞組員約七十名によつて錦町失業對策現物で吊し上げされた同勞組員柳沼一郎君十九日よりの就勞を拒んだため

平商工會議所新制定の定款（2）

第二章 會員

第六條 本商工會議所は正會員の外必要に應じて名譽會員をおくことができる

第七條 左の各號の一に該當する者は正會員となる事ができる

一、本商工會議所の地區内に住所又は營業所、事務所その他の事業場を有する個人又は法人その他の團体であつて商工業の改善發達若しくは當該地區の福祉と繁榮の增進に寄與しようとする者

二、その他本商工會議の目的を贊助する者

第八條、正會員となることを希望する者は別に定める入會手續により入會を申し込まなければならない前項の入會の諾否は役員會に於て決する

第九條 正會員は毎年所定の納期に會費一口以上を納付しなければならない會費一口の金額は會員總會の議決を以て別に之を定める

第十條 正會員は各一個の議決權を有する

第十一條 正會員は會費拾口までは一口につき一個の議員の選擧權を有し拾口を超ゆるものは三口を增す毎に一箇を加へ最高五十箇を超える事が出來ない

第十二條 會費の滯納二ヶ月に及ぶ正會員に對しては役員會の議を經て會員權を停止することが出來る

第十三條 名譽會員は商工業その他當該地區の福祉と繁榮の增進に關して功勞あるもの又は本商工會議所に對して功勞ある者を役員會に於て推薦する名譽會員は會費を負擔する義務を負わない

第十四條 退會を希望する會員は退會の屆出をしなければならない

第十五條 會員にして經費の支拂その他本商工會議所に對する義務を怠り又は体面を傷け若しくは目的遂行に反するものと認めた場合は會員總會の議決によつて除名する事が出來る

除名は除名した會員にその旨の通知をしなければこれを以てその會員に對抗する事が出來ない

除名された者は除名された日から一年間は本商工會議所の會員となる事が出來ない

平養老院實現の公算大

縣で國庫負擔の準備進む

平市に養老院建設計畫につき市當局では二十六年度に於て實現を期すべく昨秋以來構想を練りつゝあつた事は當時所報の通りであるがこれが實現する可能性の公算が大きくなつた、二十六年度に於ける社會保護施設に關し縣から國庫負擔の申請書を作製政府當局に提出する事となつたので平市に對し縣當局から養老院建設計畫書を作製の上これを携行し二十二日午前十時迄に縣民生部長室に係員を出頭せしめられたいとの通牒がこの程送達され市當局では急據計畫の大要を作製し千葉社會課長が二十一日これを携行し出張する事となつた

參院選擧 補充名簿の調製

市民洩れなく登錄を

二月十二日行はれる參議院議員の補缺選擧に於ける補缺選擧人名簿の調製について十九日開催した平市の事務囑託員の初會議で一般に周知徹底方を次の如く指示された

一、調製現在期日、一月二十六日△登錄申請期日一月二十二日より一月二十六日まで△調製期限一月三十日△縱覽期日一月三十一日より二月二日まで

二、今次選擧に用いる選擧人名簿は次の通り

1、基本選擧人名簿（昭和二十五年九月十五日現在調製、同年十二月二十日確定）

2、昭和二十六年一月二十二日現在をもつて新らたに調製する補充選擧人名簿

三、今回調製する補充選擧人名簿についての年齡住所の算定等次の通り

1、年齡について

選擧の期日（二月十二日）現在において二十年以上でなければならない即ち昭和六年二月十三日までに生れた者でなければ登錄される資格を有しない

2、住所について

選擧の期日（二月十二日）現在において市内に三ヶ月以上住所を有する事即ち昭和二十五年十一月十三日までに市内に住所を移し引續き現在住所を有すること

四、選擧人名簿の縱覽

1、補充選擧人名簿の縱覽期間は自一月三十日至二月二日

2、縱覽期間は通常執務時間中庶務課に就いて

渡米中の星一氏逝去

目下渡米中の石城郡錦町出身全國區選出參議院議員星一氏は渡米中逝去した旨二十日關係筋に入電があつた

窃盜現行犯擧る

内郷町廣畑五三土工佐藤清市（二七）＝假名は一月十八日午後八時三十分頃同番地の芳賀定二郎さん方で家族が風呂え行つての留守中簞笥の中から女物衿十三點約二萬圓相當を盜み現行犯で直ちに逮捕二十日身柄を送檢される

强奪の上暴行未遂 平神橋で娘襲わる

十九日午後六時半頃平市向鎌田生果物商一條矢重郎さん長女正子（三三）さんは勤務先新星藥品會社よりの歸途平神橋附近の電柱陰より二十才位の面長ねづみ色のジヤンバーを着た男に後から眼隱をされおう打され崖下に轉落暴行されようとしたが、同女が騷いだ爲果さず現金五百圓、作業ズボン、ハンドバツクを持つて逃走した

小名濱町の女 溝に落ちて凍死

小名濱町寺後三八橋本ハツヨ（四三）さんは同町君ケ塚地内道路側の溝に六貫匁程の薪をせをつたまゝ凍死して居たのを十八日發見した

絶對徳用 文化木炭（厚生大臣推賞）
製造販賣（卸＝小賣＝配達迅速）
各種燃料取扱 有限會社 共榮燃料工業所
平市正月町66（電話1284）
小名濱出張所（登記所前）

喫茶と輕食
出前迅速
茂登女
平市田町 電二〇四

ホーム石鹸 キリンソース 代理店
サンキュー
鍛冶町 佐々木商店 電503（呼）

昭和25年7月6日
（二）第三種郵便物認可　昭和26年（1951）

磐城毎日新聞

1月21日（日曜日）第201號

議論沸く小名濱町議會

重要議案全部を呑む

小名濱町議會は既報の如く十七日午前九時から會議室に於て開催した、勞頭議長は新年の辭を述べて議員に協力を需め二十六年度に對する心構へを述べ、水野町長も新年に際しての挨拶を述べ議事に入り議案第一號から第七號に至るもので就中議設の多かつたのは第三號案の土地買收案件と、第五號案件の株式會社東邦銀行に對し出資の件、第七號案の製氷、冷凍、冷藏工場建設に關する件であつた、土地買收案は字隼人官有地八百坪を其所管省農林省から町は借受け庶民住宅を建設せんとするものであるがこの土地は元福島郵便局長であつた高坂氏の所有だつたので農地法實施以前に買收したと云う伊藤軍之助氏から該土地に就て借入れを申込んで來たのであるが其依願者が小野議員（務）であつた爲に同議員は伊藤君は議員の公職罷免運動に急先鋒となつて活動した人物であるが、私共は虛心坦懷に之れに接して寧ろ親心を以て出來得るだけ公平に取扱つてやりたいと思うので町當局も敵慨心を持たづに親切に扱つて欲しいと希望を述べたので滿場洪笑が湧き立つた、東邦銀行は增資に伴ふ持株にいたしての割當ての一千株を拂込むかどうかにあるのに對し、小野議員十三番は資金融資の態度が不評判であるとの理由で反對したので金澤議員は得意の法理論で押たので遂に拂込みを決定した

漁業施設は最後にアツサリ

最後の製氷、冷凍、冷藏工場の建築案は議論が非常に多かつた殊には本案の趣意をそつちのけにして魚市場使用料金の問題は運營方法を極めないでは本案に贊成出來ぬと云ふ議論がみなぎり、比佐議員は漁業家を代表して高壓的に論陣を張るかに見へたので討論が沸騰し何時納まるともはてしがつかない狀況であるので小野議員（務）から本來は其企業者は漁業協同組合が主体となつて運行さるのが原則でなくてならないが、其漁業組合は數年の不漁で危殆におちいつて居る、是れに資金を造れと云う事は無理である、施設は陸上設備であるから絶体の安心の行く工場である、協同組合は公共團体であるので見返資金の枠が取れるそれで一日も早く町會は是れに贊同し工場設立に努力すべきであると眞向から大上段に打ちおろしたので是れもアツサリ定決を見た

固定資産評價員は市の要職

柏木氏は立志傳中の人

十七日開催された平市臨時議會で市の固定資産評價員準特別職として議會の承認がなければ任命し得ない要職であるこの要職に選任された柏木氏は明治十九年湯本町に生れ當六十四才磐中卒業と同時に官界に入り長野縣更級郡書記を振り出しに大藏省稅務署屬、同稅務監督局屬、司稅官、財務局事務官、同部長、札幌財務局北見支長等を歷任し中等學校卒業の學歷で高等官三等に敍せられた稅務畑の立志傳中の人で退官後北海道酒類販賣株式會社常任顧問の職に就いていたが昨年十一月歸鄉、自適の生活を送つていた高潔な人格の持ち主でその經歷と人格を買はれて起用されたもので元鈴木市長の秘書であつた故柏木哲氏の實兄である

冥土の門から舞戻る

てんやわんやの水產事務所

長所井所松

縣水產研究所平支所の松井所長さん十九日午後一時半頃發作性脈博頻數症といふいかめしい名前の持病が起き卒倒一分間脈博三百を數え見る見るうちに全身紫色に變りあわやあの世の一步手前の假死狀態になつた、居合せた所員四十數名黑山となつて慌てるやら騷ぐやら終いには泣き出す者まで出て大騷動、二、三人のお醫者さんを呼んだが强心劑も注射器もたゞアレヨアレヨといふばかり最後のお醫者さん某氏死にかゝつて居るとの電話に驚いてかけつけ眼球もつぶれんばかりにおさえつければ三分ばかりで松井所長さんこの世に御歸還けろりとして御歸りになつた、魔法か手品か、さにあらずこのお醫者さんも同じ持症の持主しであつたので手當のコツを心得ていたもの

小名濱通信

國民金融公庫法案が國會を通過して厚生資金の貸出しを斷行し參萬圓以下の融資を特定の金融機關に取り扱はせて居るのは非常に心强い施設であると喜んだのであるが、其實は喜ふべきでなく却つて幾人かは何れも泣かされて居る事實はそれ制度の弊害であり、扱ふ方の不馴れから來た段階とでも云ふべきであらう、先般其取扱ひ代理店小名濱町信用組合に於て目擊した一事は全く制度の弊害を如述に物語つて餘りあると言へる、卽ち借入申込人は勿來町關田字南町で五人家族を養つてる栗木梅子（三七）さんと云ふ未亡人である、勿來町役場では民生員をして其實体を調査せしめて貸出し切れのパンも互に讓り合ふところに其の靈長たる所以がある。力無き者には力を與へよパンなき者にはパンを與へよ智慧を與へよ學なき者には學を與へよ。只だ一人獨占しだ獨り食ふことは自らの胃腸を害し更に亦他人を餓死せしめることである有るものは無き者に讓り無き者も亦有るものを捧げてこそ人は立つ社會は結合する

（續く）

文藝欄

ダモイ

ヨシタロウ

シベリヤの大地より4

夕暮の空を雁がねぐらに翼をひろげるそれは小高い大豆畑の中で戰友と私はオレンヂ色に染つた空を仰ぐ

いつかえれるんだろうナーいつかえるのかナー

アウム返しに應へてたゞ一言

何にも云はずお互にいたわるやうに辛酸が深く刻み込まれた顏と顏を見合せる

「鄕愁」その言葉がこれ程深くそしてせつなく

交錯したことはない泣いても泣きれないこの思い

大地にひれ伏して思いきり

同胞達の名を呼んで見たいダモイ　ダモイ

二十四時間捕はれの身にけそうとしても消せないそれは白い紙にインクをたらしたら拭えないやうにあゝ張りさける樣なダモイの夢を

夕暮の大空に豆の如く小さくなる雁にたくした

20日より26日まで
ガソリンを呑み火焰の柱壯絕なる豪快實演
話題騷然たる!!!
アメリカ行きを約された
鐵の胃袋魔人颯爽公演
人間火焰放射
同時上映
絆牡丹盜賊
嵐寬壽郎
喜多川千鶴
澤村晶子
入場料 大人七〇圓 小人四〇圓
世界館

1951年の新春に贈る
第1回100萬圓寶くじ
今年の幸運は先づ寶くじの初當り
100萬圓 14本 10萬圓 70本
以下 八等迄 1枚 30圓
抽せん 1月31日 賣出中
日本勸業銀行平支店

22日より28日まで
大學に學び夜のキヤバレーに唄う
斜陽華族の令孃情熱の音樂家
青年助敎授少壯實業家が入亂れて
奏でる戀愛交響詩
情熱のルムバ
高峯三枝子 若原雅夫
德大寺伸 西條鮎子
キスヤト
平館

20日より23日まで
か嘩喧のざくやのたつ張たつ斬
し血閃一光劍か涯生か地意の男
家一岡飯と家一川笹るげあきぶ
川の途三が れ流の根利
傳滸水保天
大利根の夜霧
トスヤキ
子蘭 井花 郎壽寬 嵐
郎三禮本山 郎太彌川黑
子道 野幾 聰 村山
平文化